北九州市立則松中学校

【学校ホームページアドレス】
www.kita9.ed.jp/norimatsu-j

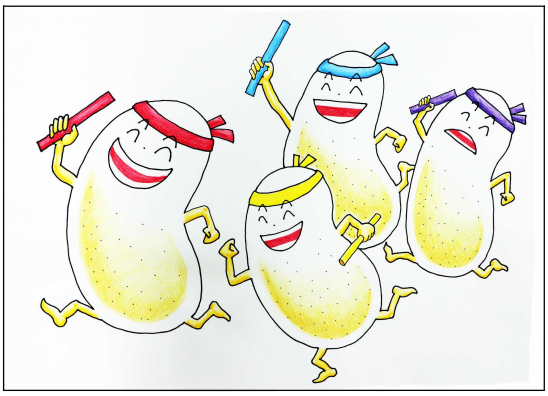
ジャガイモ

校長通信　№.２５３

令和５年　４月２６日

「　芋洗い②～入学式編～　」

校長　江　口　　満



【前号からの続き】大村はま先生の「心の中に、百の話を」の中には次のように書かれています。

『とりたてていいお話でなくていいのです。生活の中で見つけたなんでもない話、本で読んだちょっと面白いエピソードです。ただ気をつけなくてはいけないのは、いつ、どこで、誰に話しても、相手を傷つけることのないお話であるということです。それでいて、ほんわりとした雰囲気が生まれるようなお話を、教師は、そういった話を百ぐらいしまっておくといいと思います。』

私は、今年も校長通信「ジャガイモ」を綴っていこうと思っていますが、自分には、当然、１００もの持ちネタはありません。しかし、過去を振り返ってみると、生徒の皆さんの活躍、保護者の皆さんの元気、先生方の教育への情熱が私を支え、そのお陰で、何とか「ジャガイモ」を発行し続けることができたのです。

4月11日（火）第49回入学式の式辞で、「ジャガイモ」と出逢った大学時代のエピソードを語る。

実はこの「ジャガイモ」という通信は、教員になった２２歳の時から書き綴っています。学級通信、学年通信など立場が変わっていきましたが、「ジャガイモ」というタイトルは、変わりませんでした。ずっと「ジャガイモ」です。ただ一度だけ休刊しようかと迷った時期があります。三年前、コロナ禍の中、学校の休校が続き、掲載する写真が日に日に減少していった時期でした。

「私が最近、楽しく頑張っていることの一つに、ＰＴＡのイベントがあります。4月29日に八幡東区で開催する「未来カフェ」という企画です。中学校でもチラシが配られるので、よかったら来てもらえたらと思います。その時に、特に中学生の皆さんの声を聞かせてほしいと思っています。今、この新しい時代に生きている若い皆さんの感性、感じる力を信じているからです。その感性を生かして、新しい可能性を見出していってください。そして私たち大人に教えてほしいのです。則松中学校でもＰＴＡは、中学生の皆さんの応援団です。保護者の皆様もこれから一緒に則松中学校の生徒たちを応援していきましょう。」と入学式来賓祝辞でご挨拶いただいたＰＴＡ会長のＨさん

その迷いを吹き飛ばしてくれたのが家内からの言葉でした。「ジャガイモ発行こそお父さんの仕事。直接生徒に渡せないのなら、ＨＰで配信したらいいと思う。きっと子ども達はジャガイモを見て、元気になってくれるはず。」と励まされ、とにかく発行を続けたこともありました。

よく生徒から「校長先生。自分たち、ジャガイモなん？」と聞かれます。「そうだよ。」と答えると、「なんでイモなん？」と微妙な顔つきをします。

私が「ジャガイモ」と出逢ったのは、次のようなエピソードがあります。

私が大学４年生の時でした。６月の一カ月にわたる教育実習を終え、来年からの教員生活に向け、準備を開始した夏休みの時期でした。友人から、「子ども達との４泊５日の合宿に、スタッフとして参加しないか？」と誘われたのです。当時、「どのような先生を目指したらよいのか。」「子ども達にどのような指導をし、関わったらよいのか。」と、教育実習で迷っていた時期でもありました。だから、子ども達と一緒に寝泊まりして、活動できるということで、喜んで参加しました。その合宿のタイトルが、「芋塾」だったのです。（裏面へ）

入学式に緊張しつつも希望あふれる態度で臨む新入生の皆さん

会場は、広島県の山奥にあるすでに廃校になった小学校。大自然のど真ん中でした。ヒグラシの鳴き声や、濃厚な自然の香りを今でも覚えています。 県内の各地から参加した小学生や中学生。１班約１０名にグループ分けされ、その班の担任になりました。この「芋塾」の精神こそが、「芋洗い」だったのです。**【次号に続く】**

入学式後、1年2組と1年4組の学級開きの様子

「継続は力なり」　１年２組　Ｏさん

私は、小学生のときから大事にしている座右の銘があります。それは、「継続は力なり」です。

なぜこの言葉を大事にしているかというと、私は今、ダンスを習っています。ダンスは、体全体を使うことでキレッキレに見えます。しかし、体全体を使うに練習が必要です。だけど私は、「練習をしなさい。」と親に言われても何もせず、色々な動きにチャレンジしてみようともしませんでした。それに比べて妹や友達は、どんどん上達していっています。それを見て私が思ったのは、「すぐあきらめず、色んなことにチャレンジしよう。」ということでした。そして出会った言葉が、この「継続は力なり」です。中学校でもこの座右の銘を大事にして、クラスの人達と協力しながら、何事にもあきらめず一つ一つチャレンジしていけたら良いなと思います。

「この学校全体を支えたい」　１年２組　Ｍさん

ぼくは、この学校全体を支えている生徒会執行部に入りたいと思います。なぜかというと執行部の皆さんは、中学校入学説明会の時や入学式、学年集会の動画や台本など、ほとんどの行事に関わってくださっており、自分の時間を使ってそのような取り組みをされていると思います。そんな先輩方の姿を見て、心からかっこいいなと尊敬したことが、生徒会執行部に入りたいと思ったきっかけです。

ですが生徒会執行部に入るためには、日頃から何かを目標とすることを心がけることが大切だと思います。なのでこれからも目標に向かって歩んでいきたいです。もしかしたら時間が経てば生徒会執行部に入りたいという思いがうすれてるかもしれないけど、何かを目標にすること、その目標に向かって歩んでいくことを忘れずに中学校生活を過ごしていきたいです。

「私の演奏で」　１年４組　Ｋさん

私は、箏曲部に入りたいと思っています。先日の対面式で二年生、三年生の方々が群青の演奏をしてくださいました。その時私は、「箏の音色がきれいだな。弾けたらかっこいいな。」と心の中で思いました。もともと音楽が好きで、家でも歌ったりリコーダーを演奏したりと音楽とともに生活をしています。なので自分で「私にはこの部活だ。」と思いました。その日の放課後、友達と体験入部をしました。実際やってみると、指使いの難しさや弦の場所など、色々難しかったです。しかし、先輩の方々の教えやはげましが私を支えてくれました。二年生、三年生の弾き方をしっかりとお手本にして、がんばります。

私はなかなか友達以外の人に話しかけることが苦手で、則小の人たちにもなかなか声をかけられず、まだ則小の人とは一人しか友達になっていません。なので先輩や友だち関係も大切にしたいです。（中略）

中学校は新しいステージの一歩ということで、しっかりと集中して先生の話を聞き、黒板に書かれたこと以外にもメモを取りたいです。そして分からなかった所は、しっかりと家で復習します。私はこれらのことを胸に刻み、最後まであきらめずにがんばります。

「文武両道を目指して！」　１年４組　Ｙさん

ぼくが中学生になってがんばりたいことは、題名のように「文」の勉強と「武」のスポーツ、両方できるようになりたいです。

勉強は、中学生になり科目が九教科に増えて、新しい事をたくさん習うのでしっかり覚えたいです。また分からなかった事を友達に聞いたり復習したりして、理解を深めたいです。年に数回あるテストでは学習してきた事をもう一回見直して、テストに挑みたいです。

スポーツでは、小学校になかった部活が始まるので、まだ入部する部活は決まってないけど、どこの部活でもがんばっていきたいです。顧問の先生や先輩への敬意や礼儀も忘れずにがんばります。そして先輩方や同学年の人達とのコミュニケーションを大切にし、中学校の校則を守ることも心がけます。ぼくは、このようにちょっとずつ「文武両道」に向かってがんばり、他の事にもたくさん挑戦して、多くの経験を積んでいきたいです。（後略）